

研究課題番号	4-2006
研究課題名	侵略的外来哺乳類の防除政策決定プロセスのための対策技術の高度化
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	沖縄大学
研究代表者名	城ヶ原 貴通

1. 委員の指摘及び提言概要

外来哺乳類の侵入初期から根絶、再侵入防止までの防除方針を提示し、多くの査読付き論文発表によって成果の信憑性を高めていたことは評価できる。特に、奄美大島でマングース根絶確率の算出に成功したこと、アライグマの経口避妊ワクチン実用化に向けたフィージビリティスタディを実施したこと、アライグマ防除対策策定に自治体の活用が期待される意思決定支援システムを策定したこと、御蔵島のネコによる鳥類捕食の実態を解明し、捕獲によるネコ個体数の減少が可能と示したこと、奄美大島で人為資源に依存したネコが森林内で絶滅危惧種を捕食している実態を明らかにし、適正飼養等、人の行動変容が重要と示したこと、マングースをモデルとしたバイオセキュリティ体制案を示したこと、などは評価すべき成果である。

2. 採点結果

評価ランク：S